

編集後記

会誌第一一四号をお届けします。本会は、三十一年目のスタートをきりました。今後とも会員各位のご協力をお願いいたします。

本号には、佐藤誠朗新潟大学教授の玉稿を掲載させていただくことができました。同氏は、文中にも示されておりますように、ここ数年幕末、維新史に、新しい研究視角を投げかける数多くの論稿を精力的に発表しております。山本氏の論説は、一一〇号に掲載されたものの続編です。中津城下町に関して、今後の基本的な文献になると思われます。

大隈氏のとりあげられた佐田、六尾の反射炉は、最近『日本技術の社会史』（日本評論社）第五巻などにもとりあげられ注目を集めております。中山氏の江島別符は足による現地比定の作業です。白井氏のも同じことがいえましよう。

新しい歴史をつくるためには、新しい方法が採用されてきます。基礎を固めつつ、その方法を確実に模索していこうではありませんか。

（豊田記）

昭和五十九年六月二十八日 印刷
昭和五十九年六月三十日 発行

大分県地方史 第二一四号

編集者 豊田寛三

発行者 渡辺澄夫

印刷者 中尾寿孝

別府市中央町九一―五

印刷所 日の丸印刷株式会社

（電話 ②〇三四一）

発行所

〒八七〇―一一 大分市旦ノ原七〇〇

大分大学教育学部国史研究室内

大分県地方史研究会

（振替・下関八一五二九四番）